地域の資源を活かした 魅力あふれるまち

基本目標5



基本目標5

魅力ある観光資源の連続性向上と情報発信 施策 5-1-1

目的

国内外から多くの人が訪れ、 春日部の魅力を楽しめるようにすること。

現状と課題

- ■本市の代表的な観光資源「春日部藤まつり」、「大凧あげ祭り」、「春日部夏まつり」には、毎年、 合わせて約40万人以上の観光客が訪れ、にぎわいがあります。
- ■本市は、各種観光イベントや恵まれた河川環境、緑地空間を持っており、観光拠点としての可能 性を秘めています。また、観光の発展による交流人口の増加によって、より魅力的なまちづくり を進めていくことが必要です。
- ■年間を通じて来訪してもらえるような取組や、本市を訪れたことのない人に対して市の魅力を伝 えることが必要です。
- ■本市には、長い歴史のある伝統工芸品をはじめ春日部産などの優れた食品があり、これらを*地 域ブランドとして発信していくことが必要です。
- ■訪日外国人が東武鉄道沿線の浅草や日光、鬼怒川を訪れる際に鉄道の利便性を生かし春日部に訪 れてもらうことが必要です。



施策における取組

観光資源の魅力向上

- ■観光に関する方針を定め、本市の特性を生かした施策を策定します。
- ♪ ■観光資源となる首都圏外郭放水路、道の駅「庄和」、古利根川、粕壁宿などを再認識し魅力の 向上を図ります。
 - ■「春日部藤まつり」、「大凧あげ祭り」、「春日部夏まつり」などの祭り、日光道中の宿場として 栄えた粕壁宿、春日部の魅力を巡る散策ルートなどの観光資源をさまざまな媒体を活用し、国 内外に発信します。

観光施設の整備とネットワーク化

- 恵まれた自然環境と歴史文化を活用するとともに、新たな観光資源を創出し、人(観光客)を 呼び込むことを目的とした施設の整備・誘導を図ります。
- ■観光拠点を構築するとともに、市内に点在する観光資源を新たな観光資源と連続性を持たせ、 訪れた人が回遊し、楽しめる観光の構築を図ります。
- ■観光資源として特産品を展示するだけでなく、ものづくり体験ができるような工夫をすること により、訪日外国人も訪れるような魅力の向上を図ります。

観光情報の充実



- 🎵 春日部情報発信館「ぷらっとかすかべ」や道の駅「庄和」などの施設において観光パンフレッ トの配布や観光案内を充実します。
 - ■観光資源やイベント情報をさまざまな媒体を活用し、国内外に発信します。
 - 東武鉄道に観光やイベント情報を発信するとともに、特急の停まる駅として便利なまちをPRし、 鉄道で本市を訪れる仕組を構築します。







映画のロケーションなどの誘致促進

- 本市の魅力を発信する撮影候補地を開拓します。
- 映画やテレビCMなどを誘致し、観光振興を推進します。

地域産品のブランド化と情報発信

- ■*かすかべフードセレクション事業をPRし、*地域ブランドを確立します。
- ■*かすかべフードセレクション認定商品を市内外に広くPRし、観光資源として確立します。

成果指標	現状値	目標値	目標値の根拠
①観光入込客数	1,849,999人	2,030,000人	観光施設、イベント等の来場者数を10%
(一) 既几八 <u>以合</u> 奴	2016年度(平成28年度)	2022年度(平成34年度)	程度増やすことを目標とします。

主な事業	事業内容
観光振興事業	既存観光資源の魅力を向上させるとともに、新たな観光資源を創出し、これらの連続性 を持たせた観光の推進と魅力の発信をします。⇒成果指標①
大凧あげ祭り実施事業	大凧あげ祭りの企画・運営、各種式典の開催、飛揚会場設営・運営を実施します。⇒成 果指標①
春日部*フィルムコミッション事業	テレビ・映画・CMなど撮影の誘致支援活動を行い春日部の魅力を発信します。⇒成果 指標①
まちなか魅力発見観光ガイ ド事業	市の魅力をPRするため市内の名所などのガイドや観光ガイドマップの作成・配布を行います。⇒成果指標①
春日部情報発信館運営事業	観光・イベント・市政情報などを発信する春日部情報発信館「ぷらっとかすかべ」の運営業務を行います。 ⇒成果指標①
大凧啓発推進事業	市のPRを図るために大凧あげ祭りの啓発活動を行います。⇒成果指標①
*かすかべフードセレク ション推進事業	市の優れた食品を「*かすかべフードセレクション」として認定し、認定した産品を市内外に広くPRすることで*地域ブランドの構築を図ります。⇒成果指標①

市民・地域との協力

- ・市民や地域、ボランティア団体等との協力・連携
- ・観光協会の主体的な取組の支援

春日部市独自の魅力

・観光資源をつなげ魅力を発信することにより、にぎわいの創出を進めます。



【首都圏外郭放水路】





【道の駅「庄和」】





【春日部情報発信館 「ぷらっとかすかべ」】







中心市街地にふさわしい活気あふれる商店街の形成 施策 5-1-2

目的

中心市街地の商店街が市内外の 消費者でにぎわうようにすること。

関連する行政計画 ▶ 第2次春日部市商工業振興指針

現状と課題

- 活気と活力に満ちた魅力あふれるまちを創出するためには、中心市街地の活性化を図る必要があ ります。
- ■中心市街地を活性化するために、*春日部TMOの組織の強化とその活動の支援を行うとともに、 大規模商業施設と既存小規模商店が共存・共栄するためのイベントの連携や店舗同士のタイアッ プを促進することなどが必要です。
- ■中心市街地に人を呼び込むための方策として、市民や事業者主体のイベントを支援するとともに、 中心市街地のPRや情報発信を積極的に行っていく必要があります。
- ■春日部駅付近*連続立体交差事業を契機として、市の中心市街地としてふさわしい、同遊性と集 客力の高い商店街を形成する必要があります。
- ■旧春日部市商工振興センター跡地については、中心市街地の活性化につながる活用を図る必要が あります。



施策における取組

中心市街地活性化による活力ある商店街の形成

♪ ■*春日部TMOを中心としたイベントなどの開催や、商店街の主体的な取組を支援し、多目的に 長時間楽しく過ごせる商店街を形成することにより、消費拡大と商店街の活性化を図ります。

回遊性の向上

- ことにより、春日部駅東西口の回遊性の向上を図ります。
- ♪ 春日部駅付近*連続立体交差事業を契機として、市の中心市街地としてふさわしい、それぞれの 特徴を生かした商店街を形成することにより、回遊性と集客力の向上を図ります。

中心市街地に関する情報発信

■*春日部TMOや地元商店街が、ホームページなどを活用して、中心市街地における商店街活性 化の取組、店舗や各種サービス、イベントなどについての情報を積極的に発信していくことを 支援するとともに、広報紙や市公式ホームページでPRしていきます。

旧春日部市商工振興センター跡地の有効活用

■ 旧春日部市商工振興センター跡地については、より多くの人々が訪れる施設を建設するなど、 中心市街地の活性化につながる活用を図ります。





成果指標	現状値	目標値	目標値の根拠
①イベントの来場者 数(ジャズデイか すかべ、粕壁エイ サーまつり、 かべ音楽祭「まち かどコンサート」)	26,017人 2016年度(平成28年度)	28,500人 2022年度 (平成34年度)	*春日部TMOが中心に開催する各種イベントにおける2022年度(平成34年度)の来場者数を、10%程度増やすことを目標とします。

主な事業	事業内容
商業タウンマネージメント 構想推進事業費補助金	中心市街地の活性化を推進するため、*春日部TMOが春日部市商業タウンマネージメント構想に基づき実施する事業に対し補助を行います。⇒成果指標①

市民・地域との協力

• 市民の春日部駅周辺での買い物の促進

春日部市独自の魅力

•*春日部 TMO が中心となり開催するジャズデイかすかべ、粕壁エイサーまつり、かすかべ音楽 祭「まちかどコンサート」等のイベントを支援することにより、中心市街地の活性化を推進して いきます。





地域の資源を活かした魅力あふれるまち〔観光・産業・経済〕

施策 5-2-1

多様な働き方への支援

目的

だれもがそれぞれのライフステージに応じた働き方ができること。

関連する行政計画 ▶ 第2次春日部市商工業振興指針

現状と課題

- 核家族化の進展や共働き世帯の増加に対応し、だれもが働きやすい環境づくり、育児や介護など の面で就労を支援する制度の整備が重要となっています。
- ■「*ワーク・ライフ・バランス」の推進など、それぞれのライフステージに応じた多様な働き方 ができる環境づくりへの支援が必要です。
- ■健康で安心して働けるよう、勤労者の余暇時間の充実や生活の質的向上に向けた講座の開催や、 就労に向けた支援に寄与する講座の開催に取り組んでいく必要があります。



施策における取組

就労支援の充実



🏂 ■ 公共職業安定所や県と連携し、雇用情報の提供、雇用相談などの充実・強化を図ります。



🎵 ■ 若年層、高齢者、障がい者、女性、外国人就労者など、それぞれのライフステージに対応した 就労支援体制の確立に努めます。

勤労者福祉の向上

■ 余暇時間を充実する趣味趣向に趣を置いた講座や、生活の資質向上に寄与する就労を支援する 各種講座を計画し、開催します。



♪ ■ 講習会などの開催や、各種サークルやボランティア活動団体の育成・養成・情報提供などに努 めます。



♪ ■ 「中小企業退職金共済・掛金補助制度」などの共済制度の普及や住宅資金融資制度の充実に努 めます。

成果指標	現状値	目標値	目標値の根拠
①就職支援セミナー 参加者の満足度	95.5% 2016年度(平成28年度)	96.7% 2022年度(平成34年度)	各種就職支援セミナー参加者アンケートの 「良かった」の割合を、1.2ポイント程度 向上させることを目標とします。

主な事業	事業内容
地域連携就労支援事業	就職活動をしている若者(学生を含む)や、中高年、女性など、対象者の特色を踏まえたセミナーやカウンセリング等を行うとともに、働く現場や働く人の声を聞く機会を提供し、地域産業への理解と市内中小企業の労働力確保につなげます。⇒成果指標①
労政事務	社会変化に適応できる勤労者を育成する講座を開催するとともに、雇用促進を図るため に関係機関との連携を深め、雇用関係全般の安定を実現します。⇒成果指標①

市民・地域との協力

・市民の力で地域の雇用を守る取組への参加

春日部市独自の魅力

・これから社会の一員となる学生・生徒が仕事の現場を見学・観察する「ジョブシャドウイング」 を実施し、将来の進路や職業選択の一助としていただくとともに、地域の雇用を促進します。

PH0T0

PHOTO 【女性のための就職支援セミナー】



【女性のための就職支援セミナー(託児)】



施策 5-2-2

新たな地域産業の創出

目的

地域の特性を生かした新産業が創出されるようにすること。

関連する行政計画 ▶ 第2次春日部市商工業振興指針

現状と課題

- 近年、労働力人口が減少に転じており、地域の雇用を促進するためにも、広域交通網整備と連携 した工業施設の立地誘導など、工業の振興施策が必要です。
- 既存産業の構造変化が進む中で新しい産業が期待されています。本市においても新規産業の積極的な誘致や、企業育成のための基盤整備、成長性の高い新規産業の創出に向けた支援・情報提供などの施策づくりが課題です。
- 地域における新しい価値の創造や雇用の創出を促進するため、地域にねざした創業に対する支援が必要です。



施策における取組

優良企業の誘致

- 自然環境と生活環境に配慮しつつ、新たな企業の誘致に取り組むとともに、市内企業の事業拡大や市民の雇用の促進を図ります。
- 国道4号バイパスや国道16号などの良好な交通環境を生かすとともに、道路・排水路などの 産業立地に必要な基盤整備を推進し、産業集積ゾーンへの工業・流通系の優良企業の誘致に努 めます。

産学官の連携

起業に向けた支援の充実

- 🍃 関係機関と連携し、市内での創業に向けた支援事業に取り組みます。
- ♪ 起業家に対し、各種制度融資や支援機関などの情報提供に努めます。









成果指標	現状値	目標値	目標値の根拠
①市の特定創業支援 事業「創業塾」を 受けて起業した件 数	6件 2016年度(平成28年度)	18件 2022年度(平成34年度)	市の特定創業支援事業「創業塾」を受けて 起業した件数を、現状値より5年間で12件 増加させることを目標とします。
②企業誘致奨励事業 を活用して立地し た企業の件数	7件 2016年度(平成28年度)	13件 2022年度(平成34年度)	企業誘致奨励事業を活用して立地した企業 件数を、現状値より5年間で6件増加させ ることを目標とします。

主な事業	事業内容
新産業創出支援事業	中小企業者の事業拡大や創業を考えている人材の育成を促進するため、地域に新しい価値を創造するビジネスプランのコンテストを実施します。⇒成果指標①
法人設立応援補助金	市内への定着性、継続性の高い会社法人の設立を促進させ、地域経済の活性化や雇用の 創出を図るため、市の「特定創業支援事業」による支援を受けた創業者を対象に登録免 許税を補助します。⇒成果指標①
企業誘致奨励事業	庄和I.C.周辺部を中心とした産業指定区域に工場等を新設する企業に対して奨励措置を 講じることにより、企業誘致を推進し、産業の振興および雇用機会の拡大を図ります。 ⇒成果指標②

市民・地域との協力

・新たな地域産業を創出する取組への参加

春日部市独自の魅力

・かすかベビジネスプランコンテストや法人設立応援補助金を通じて、地域にねざした創業に対す る支援を推進していきます。





商工業がさかんなまちをつくる

活力ある工業の基盤づくりへの支援と地域産業の魅力発信 施策 5-3-1

目的

工業者の経営が安定化し、 地域産業や伝統工芸が活性化すること。

関連する行政計画 ▶ 第2次春日部市商工業振興指針

現状と課題

- ■産業の*グローバル化の進行による世界規模での競合の激化や、人口の減少や高齢者の急激な増 加による国内市場の変化などにより、地域産業を取り巻く環境は依然として厳しい状況が続いて います。
- ■市内製造業の大半を占める中小企業の経営安定と振興を図るため、融資制度を充実するなど経営 基盤強化のための支援を行うとともに、技術力および競争力の向上による工業の振興と雇用機会 の拡大を図っていく必要があります。
- ■商工団体と連携して、既存企業の経営支援や人材育成支援、競争力強化支援等の振興策を推進す る必要があります。
- ■本市の特産品(桐たんす、桐箱、押絵羽子板、麦わら帽子)を効果的に PR し、特産品の振興・ 販売促進、経営基盤の強化を図るとともに、伝統工芸技術を次世代に引き継ぐための支援が必要 です。
- ■新たに策定された第2次春日部市商工業振興指針に基づき、地域産業の魅力等を効果的に PR す るなどの工業振興策を推進する必要があります。



施策における取組

既存企業の産業競争力強化のための支援

■埼玉県産業技術総合センターや大学などと連携した産学官による研究・開発、相談体制の確立 を図り、企業の技術水準向上を促進します。

中小企業の経営支援の充実

- ■中小企業の経営改善に向け、県や商工団体などと連携し、工場経営診断の実施や各種セミナー の充実を図ります。
- ■中小製造企業に対する融資制度の活用・充実、国・県の融資制度の活用促進により、収益性の 高い生産体制の確立を促進します。

中小企業を担う人材育成





♪ ■ 既存企業の育成、後継者グループの活動に対する支援・育成、異分野・異業種交流を促進しま す。





地域産業および伝統工芸への支援

■ 特産品の普及と振興を図るため、各種イベントや観光事業などを通じて、特産品販路の一層の 拡大と伝統産業のPRを行います。



- ♪ ■後継者育成の支援、消費者ニーズに対応した商品づくりのための研修会や新商品開発のための 事業を支援します。
 - 地域産業の活性化を図るため、独自の技術を持つ工業者の紹介など、地域にねざした産業の魅 力を効果的にPRします。

成果指標	現状値	目標値	目標値の根拠
①かすかべ企業シェ ア研修参加者の満 足度	88.1% 2016年度(平成28年度)	90.0% 2022年度(平成34年度)	かすかべ企業シェア研修参加者アンケート の「とても良かった」の割合を、1.9ポイ ント程度向上させることを目標とします。

主な事業	事業内容
異業種交流推進事業	異業種の社員等が交流し情報交換を行うことにより、自社や自らの仕事の魅力を発見させるための機会づくりや、ビジネスに繋がる人脈を構築する場を提供します。⇒成果指標①
特産品協議会補助金	市内の特産品の普及育成および販路拡大を図るため、春日部市特産品協議会が実施する 事業に対し補助を行います。⇒成果指標①

市民・地域との協力

・市民が地域の特産品に触れる機会の提供

春日部市独自の魅力

РНОТО

・市内中小企業の社員を対象に実施する異業種交流推進事業を通じて、人材育成・独自性の発見・ 人脈構築等を促進し、地域産業の活性化を推進しています。





【桐箱】

【押絵羽子板】



【桐たんす】



PHOTO 【麦わら帽子などの麦わら製品】







商工業がさかんなまちをつくる

施策 5-3-2

身近で楽しめる商業環境の充実

目的

だれもが生活に必要なものを身近で購入できるようにすること。

関連する行政計画 ▶ 第2次春日部市商工業振興指針

現状と課題

- 少子高齢化が進展する中、消費者が生活必需品を地元で購入できるように各個店の充実を図る必要があります。
- ■地元商店街の集客を図るため、駐車場の整備や周知、*バリアフリー化など、消費者が安心して 買い物を楽しめる環境づくりが必要です。
- 食料品や日常生活品を購入するために訪れる消費者が、家電製品や耐久消費財など、多彩な商品を購買する志向を持てるような、魅力あふれる商業空間の整備や地元商店街の活性化を図るための取組を支援する必要があります。
- 商店街は地域の生活を支える基盤となっていることから、地域住民・商店街・市が一体となった 取組を行い、「地元に愛される商店街」を育む必要があります。
- ■商店街の振興と安定のため、空き店舗の有効活用を図る必要があります。
- 新たに策定された第2次春日部市商工業振興指針に基づく、商業の振興策を推進する必要があります。



施策における取組

特徴を生かした魅力ある商店街の形成

- □ 地元農産物や地域産業、伝統工芸などを活用し、地域の特性を生かした魅力ある商店街の形成を促進します。
- ▼ イベント開催や特産品の販売、「元気な商店街」の紹介などを通し、集客数を増加させて「に ぎわいのある街づくり」を目指します。

魅力ある商業環境の整備

- ♪ 共同駐車場や街路灯、ショッピングモール化などの整備を支援します。
- ▶ 各個店の駐車場や商店会の共同駐車場等を効果的に周知し、安心して買い物を楽しめる環境づくりを推進します。

空き店舗の有効活用による活性化

小規模商業者の経営支援

- 小規模商業者の経営に資する経済情勢に即した各種セミナーの充実を図ります。
- Ď 経営安定化のための融資制度の利用促進を図ります。







商工団体の支援

- ■商工業者の経営改善の充実を図るため、商工団体などの活動を支援します。
- 市内で生産・販売されている優秀作品を展示し、商工業者と市民のコミュニケーションの場を 提供します。

成果指標	現状値	目標値	目標値の根拠
①食品・飲料や日 用・家庭雑貨を主 に市内で購入する 市民の割合	93.4% 2015年度(平成27年度)	94.0% 2020年度(平成32年度)	2020年度(平成32年度)に予定されている次回の「埼玉県広域消費動向調査」までに、0.6%程度向上させることを目標とします。

主な事業	事業内容
商店街活性化推進事業費補 助金	商店街の環境整備および活性化を図るため、各商店街等が実施する共同事業に対し補助 を行います。⇒成果指標①
商店街等連携ふれあい事業 費補助金	商業団体の活性化を図るため、敬老会や成人式などの市の事業と連携し、商業団体が実施する販売促進事業に対して補助を行います。⇒成果指標①
商店街事業活動費補助金	商店街の振興と安定を図るため、春日部商工会議所および庄和商工会が行う商店街事業 の活動を促進するための事業に対して補助を行います。⇒成果指標①

市民・地域との協力

・市民が地元商店街に愛着を持ち続ける取組の推進

春日部市独自の魅力

・市の事業(敬老会、成人式等)と連携して、行事への参加者へのサービスを充実させる「商店街 等連携ふれあい事業費補助金」を実施しています。

РНОТО

【音楽祭と連携し商店街が作成した横断幕】



基本目標5

施策 5-4-1

農業が継続的に行われる環境整備

目的

意欲ある農業経営者が安定かつ持続可能な経営ができるように 農業の生産・経営基盤を整備すること。

関連する行政計画 ▶ 春日部市農業振興地域整備計画

現状と課題

- ■農業経営者の高齢化や後継者不足により、農家数や農業就業人口、*経営耕地面積は年々減少し、 農用地利用の低下や*耕作放棄地が増えています。
- ■農業経営のためには、農業用揚・排水施設や道路などの農業生産基盤の整備や維持管理が必要不 可欠で、これらの施設の更新が求められています。
- ■農業や農地は、農産物を生産するだけでなく、保水・遊水機能や大気の浄化、景観形成など多面 的な役割を担っており、市民一人ひとりが地域の農業・農地を理解し支えていく意識や仕組が必 要です。
- ■担い手となる農家が、農業経営を拡大していくためには、農地の利用集積により効率的な農業経 営ができるようにしていくことが必要です。
- ■農業後継者や地域農業生産の中心的な担い手となる*認定農業者の育成が重要であり、新たに農 業を志す人たちのためにも、魅力ある農業環境づくりや人材の育成体制を充実する必要がありま



施策における取組

農業生産基盤の整備

- ♪ 農業基盤の整備と農業の振興を図るため、狭あいな農道の拡幅整備や用排水路の整備に努めま す。
- ♪ 老朽化した*土地改良施設の計画的な改修に努めます。
- ▶ 土地改良区や農家組合が実施する用排水路やポンプ施設等の農業生産基盤の整備・改良に対し て支援します。

地域の共同活動の支援

- ♪ 農地法面の草刈り、水路の泥上げ、農道の路面維持など基礎的な地域の共同活動を支援します。
- 🋂 水路、農道等の施設の補修、植栽や*ビオトープづくりなどの共同活動を支援します。
- 🎵 農業や農地の多面的な役割を広く市民に理解してもらうため身近な都市農地の保全に努めます。

農業経営への支援

- 🎵 農地の有効活用を図り、農業経営の規模拡大を促進するため、農地の集積化と畦畔除去などに よる生産効率の高い農地の整備を図ります。
- ♪ 各種農業経営者向けの融資制度を利用した農業経営に必要な施設・機械などの購入を促進し、 農業経営の近代化に努めるとともに、農業団体の活動を育成・支援し、合理的かつ安定的な農 業経営の確立を促進します。





農業の担い手の育成・確保



- ♪ ■*認定農業者の支援、農業以外からの新規参入者が確実に就農できる就農直結型の「明日の農業 担い手育成塾」による農業後継者の育成、企業の農業参入などにより、地域の農業の担い手の 確保を図ります。
 - ■農業を補助・体験できる「農業ヘルパー制度」により、農業にふれあう場を提供し、担い手の確 保に努めます。

成果指標	現状値	目標値	目標値の根拠
①多面的機能支払交付金 交付対象面 積	23,392 a 2016年度(平成28年度)	28,000 a 2022年度(平成34年度)	交付金制度の支援策により年間1,000 a 程度増やすことを目標とします。

主な事業	事業内容		
多面的機能支払交付金	農業や農地の持つ多面的機能の発揮を推進するため、農地法面の草刈り、水路の泥上 げ、農道の路面維持など基礎的な地域の共同活動に対して支援します。⇒成果指標①		

市民・地域との協力

・農業や農地の持つ多面的機能に対する理解と協力

春日部市独自の魅力

・水路、農道等の施設の補修、植栽や*ビオトープづくりなど、地元農家以外も参加可能な共同活 動の支援を通じて、魅力ある農業環境づくりを進めています。



【地域の共同活動による整備】





基本目標5

施策 5-4-2

魅力ある農産物の生産と消費拡大

目的

生産者が魅力ある農産物の生産力を高め、 消費者の購買意欲や関心の向上により、消費の拡大が図られること。

現状と課題

- ■市内各地では、それぞれの立地条件を生かし、米・麦などの土地利用型農業、ナスやキュウリ、 トマトなどの施設型農業、梨・ぶどうなど果樹の観光農業や季節を彩る花きの生産が行われてい ます。
- 消費地に近い本市の優位性や農産物の特性に応じた多様な販売ルートの充実、農商工連携や 6 次産業の活用による農産物の新たな魅力やブランドづくりなどを促進していく必要があります。
- ■市場出荷、直売、観光農業など農産物に応じた多様な販売ルートにおいて、市が情報発信を行い、 春日部産の農産物の消費拡大を支援していく必要があります。
- ■農産物に対する事業者や消費者のニーズは、安全・安心であることのほかに、新鮮さや食味の良 さ、調理のしやすさ、価格、品質の良さなど多様化してきており、生産者は、ニーズに対応した 農産物を生産することが求められています。
- ■事業者や消費者の多様なニーズを踏まえ、生産者が戦略的な春日部産の農産物づくりへの取組を 進めていけるよう支援していく必要があります。
- ■農業祭や直売イベント、稲作体験などを通じて、生産者と消費者が交流できる場面を通じ、農業 の魅力や必要性を PR することで、市民が農業に対する理解を深め、春日部産の農産物の消費拡 大を促進していく必要があります。



施策における取組

地域や生産者団体の特性に応じた産地形成の促進

♪ ■ 市内の農産物の生産振興や産地形成を図る農業振興団体の活動の支援を行います。

🍠 ■ 園芸産地や果樹産地の育成を図るため種苗や薬剤の共同購入、必要な機械や設備などの整備を 支援していきます。

▼ *共進会を行い、優秀な農産物を表彰するとともに、生産意欲の向上と栽培技術の向上を図りま

戦略的な春日部産の農産物づくり支援



戦略的な農産物づくりに取り組めるよう支援します。



- ▶ 高付加価値のブランド農産物や質の高い農産物づくりに取り組む*認定農業者などの生産者を支 援します。
 - 旬で新鮮な春日部産の農産物の直売を行う定期的なイベントや*マルシェを支援し、消費者の購 買意欲や関心を高め、消費の拡大を図ります。





春日部産農産物の情報発信

- 直売所や*観光農園などの情報発信を行い、春日部産の農産物が購入できる場所のPRに努めま す。
- 旬の時期の春日部産の農産物を、事業者や消費者に知ってもらえるよう情報発信に努めます。

まち全体で支える農業の魅力向上

■農業祭や産業祭、春日部産の農産物を利用したPRイベント、稲作体験などを通じて、生産者、 事業者、消費者が触れ合える機会を設けます。

成果指標	現状値	目標値	目標値の根拠
①地元農産物を購入 している市民の割 合	— % 2016年度(平成28年度)	75.0% 2022年度(平成34年度)	2017年度(平成29年度)から、農業祭 などイベント参加者へのアンケート調査を 行い、市民の4分の3の方が、地元農産物 の購入を進んで行うことを目標とします。

主な事業	事業内容		
農業振興事業	農業に関心を持ってもらい、地元農産物の消費拡大と生産技術の向上を図るため、農業 祭開催などを行います。⇒成果指標①		
産業祭実施事業補助金	農業・商業の関心を高め地産地消を推進するため、産業祭の開催に伴う事業に対し補助 を行います。⇒成果指標①		
農産物紹介事業	地元農産物の価値を高めるため、*認定農業者などから市が直接購入した農産物を事業 所に食材などとしてサンプル提供を行い、新たな商品開発、消費拡大に繋げます。⇒成 果指標①		

市民・地域との協力

・農業や農産物に触れる場や機会への参加

春日部市独自の魅力

・生産者、事業所、販売業者、消費者のすべてが関わりながら、春日部市*シティセールス戦略プ ランにおける「8つの魅力」の1つ「地場野菜などの農産物」を磨き育てる取組を進めています。



